

「個人研究発表募集のお知らせ」

宗教倫理学会第20回学術大会が、下記の通り開催されます。つきましては、会員による「個人研究発表」を募集いたします。奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

記

(1) 学術大会日等

- ・ 日程：2019年10月12日(土)
- ・ 場所：京都大学（京都府京都市左京区吉田本町36番地1）
- ・ 大会テーマ：「「心」から宗教倫理を問う—現代世界の問題状況のなかで—」

(2) 個人研究発表募集について

- ・ 発表時間：30分（発表20分、質疑応答10分）

個人研究発表は必ずしも大会テーマと関わらせる必要はありませんが、大会テーマの趣旨をご理解いただき、幅広い観点から宗教倫理の理論および実践について論じる発表をお願い致します。発表ご希望の方は発表題目および800字程度の要旨をつけて、下記のメールアドレスまでご応募ください。

（題目、要旨はメール本文に書き込んで下さい）。

conference2019★jare.jp ※「★」記号を「@」に置き換えて下さい。

メールをお使いでない場合は下記の住所に「宗教倫理学会第20回学術大会実行委員会」宛で郵送してください。

締切：2019年6月30日(日)

〒520-2194

大津市瀬田大江町横谷1番5

龍谷大学 瀬田キャンパス 杉岡孝紀 研究室

【参考】

今年度の研究テーマの趣旨説明

「「心」から宗教倫理を問う—現代世界の問題状況のなかで—」

**Religious Ethics from the perspective of Kokoro(heart,mind,and spirit) .**

これまで本学会では、生命や環境などをめぐり、諸宗教と諸学問分野が共有し、また現代社会が直面する問題について共同研究を進めてきた。2019年度の研究プロジェクトでは、こうした本学会の研究成果を踏まえたうえで、新たなテーマとして、「心」をめぐる諸問題に取り組んでいきたい。「生命」と同様に、「心」は広範な問題領域を包括する概念であり、そこにおいては、認識・認知・意識だけでなく感情・情動そしてスピリチュアリティ（霊性）が相互に密接に関連し合っている。また関係する学問分野には、宗教学、倫理学、哲学はもちろん、心理学、社会学、認知科学、脳科学、あるいは人類学、教育学、法学などが含まれる。「心」に関わる問題が広範に及ぶことは、多様な研究テーマを専門とする全ての会員がそれぞれの研究の立場から研究プロジェクトに参加することができると同時に、問題が拡散し焦点が定まらないことも考えられる。そこで、2019年度は、「心」の問題領域の広がりの中にも、特に現代世界が「心」との関連で直面する問題に焦点を合わせたい。たとえば、現代世界を生きる私たちが分断し対立させる差別や偏見の問題、学校や職場から家庭にまで広がるいじめ、虐待、ハラスメントの問題、LGBT/性的マイノリティの問題など、「心」をめぐる現代社会の病理は深刻であり緊急の対応が求められている。宗教倫理がこうした現代世界の問題状況にあって何を語りうるかは、宗教倫理学会において検討すべき問いであり、真剣な議論が求められる。会員のみなさまには、積極的な発表・参加を大いに期待したい。

なお、「心」というテーマは多くの宗教が共有する問題領域であるが、現代宗教をめぐるしばしば見られるような、歴史的な諸宗教がその個性を希薄化し、「心」に収斂するかに見える動向とは、一線を画することが必要である。「心＝宗教」という漠然としたイメージに寄りかかるのではなく、むしろ、個々の宗教の歴史的な個性とその現代的意義を問い直す方向で議論を展開したい。

大会実行委員長 氣多雅子（京都大学名誉教授）